

# 小木の子 われら

校区内  
全戸回覧

令和6年4月30日発行

## 令和6年度のキーワードは「挑戦」

校長 高橋 高志

元気いっぱいの7名の1年生を迎え、令和6年度がスタートしました。3週間ほど経ちましたが、各学年で、次のような素敵な姿がたくさん見られます。

- 1年生：学校たんけん、校長室を見に来てくれました。大きな金庫に興味津々でした。
- 2年生：昼休みに鬼ごっこに誘ってくれました。人と積極的に関わる姿が頼もしいです。
- 3年生：タブレットで春の植物をたくさん撮影していました。新しく学ぶ教科に意欲的に取り組んでいます。
- 4年生：いつ授業を見に行っても活気があります。学校を明るくしてくれます。
- 5年生：互いの個性を認め合い、和気あいあいと学習をしています。ほのぼのします。
- 6年生：1年生のお世話や委員会活動、運動会に向けた活動など「新しい小木小のリーダーズ」としてフル回転しています。

さて、今年度、小木小学校では、PTA総会でお示したグランドデザインを意識しながら、主に次の2つのことに「挑戦」しようと考えています。

### 挑戦①：新聞の活用を通じた「深い学び」

昨年度から、「NIE（新聞を活用した教育）実践・研究委嘱校」の指定を受けています。子どもたちは、児童玄関に設置した新聞をよく見えています。また、週に一度の「NIEタイム」を通して、記事に対する自分なりの思いを蓄積しています。それらを生かし、国語の学習を中心に、新聞を活用しながら「考えを深める」子どもを目指します。

### 挑戦②：地域へ出て学びを「伝える」

小木小学校では、民話や町並み、郷土食、職業語り等、地域の皆様から多大なお力添えをいただいています。これらの学習成果を校舎内にとどめておくのはもったいないです。また、グローバル化の進展した現代では「思考力が高くても、自分の考えを言えなければ、世界で戦っていくことはできない」と言われます。学習の過程で友達や地域の方とかかわり、広く地域の方々に学びを伝えることで、子どもたちの発信力を高めたいです。

子どもたちにとっては、毎日の学習が新しい学びへの「挑戦」です。職員一同、76名的小木っ子たちの伴走者として、わくわくした気持ちで教育活動に「挑戦」していきたいと思っております。保護者の皆様、地域の皆様、令和6年度もお力添えをよろしくお願いいたします。